

カナダ高配当株ツイン α (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

第28期末 (2015年10月19日)	
基準価額	4,976円
純資産総額	181,606百万円
第23期～第28期	
騰落率	Δ 17.2%
分配金合計	900円

*騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

第23期 2015年5月18日決算 第24期 2015年6月17日決算
 第25期 2015年7月17日決算 第26期 2015年8月17日決算
 第27期 2015年9月17日決算 第28期 2015年10月19日決算
 作成対象期間 (2015年4月18日～2015年10月19日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「カナダ高配当株ツイン α (毎月分配型)」は、このたび、第23期から第28期の決算を行いました。

当ファンドは、主に円建て外国投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名の一部から探す」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

ホームページアドレス <http://www.daiwasbi.co.jp/>
お問い合わせ先

受付窓口：(電話番号) 0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで(土、日、祝日除く。)

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

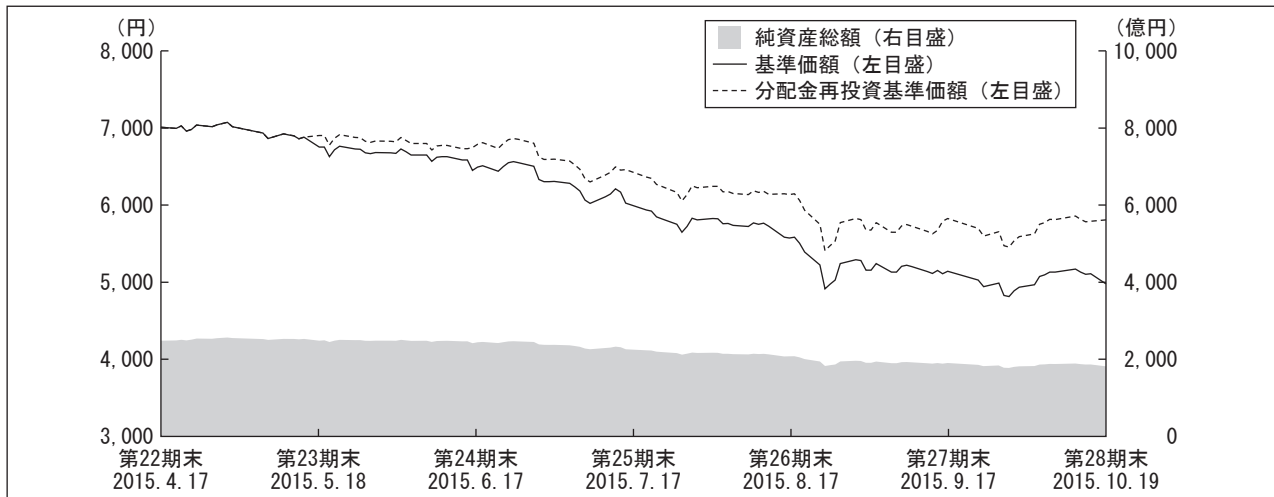


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第23期首： 7,011円

第28期末： 4,976円（作成対象期間における期中分配金合計額 900円）

騰落率：△17.2%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Classへの投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせ運用を行いました。

（上昇要因）

セクターでは、生活必需品、電気通信サービス、情報技術の各セクターがプラスに寄与しました。個別銘柄では、エネルギーセクターのグラナイトオイル、一般消費財サービスセクターのダララマ、ウィスラー・ブラスコム・ホールディングスの保有などがプラスに寄与しました。原油価格の下落は消費者に減税効果に似た恩恵をもたらしており、好調な個人消費を背景に消費関連銘柄が相対的に堅調となりました。

株式カバードコール戦略と通貨カバードコール戦略がプラスに寄与しました。

（下落要因）

セクターでは、ヘルスケア、エネルギー、素材の各セクターがマイナスに作用しました。個別銘柄では、エネルギーセクターのペングロス・エナジー・トラスト、ノーザン・ブリザード・リソーシズ、ヘルスケアセクターのコンコーディア・ヘルスケアやバリアント・ファーマシューティカルズ・インターナショナルの保有などがマイナスに作用しました。

【1万口当りの費用明細】

項目	第23期～第28期		項目の概要
	2015年4月18日～2015年10月19日		
	金額	比率	
信託報酬	41円	0.685%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は5,999円です。
（投信会社）	(13)	(0.214)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(27)	(0.458)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.001	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	41	0.685	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

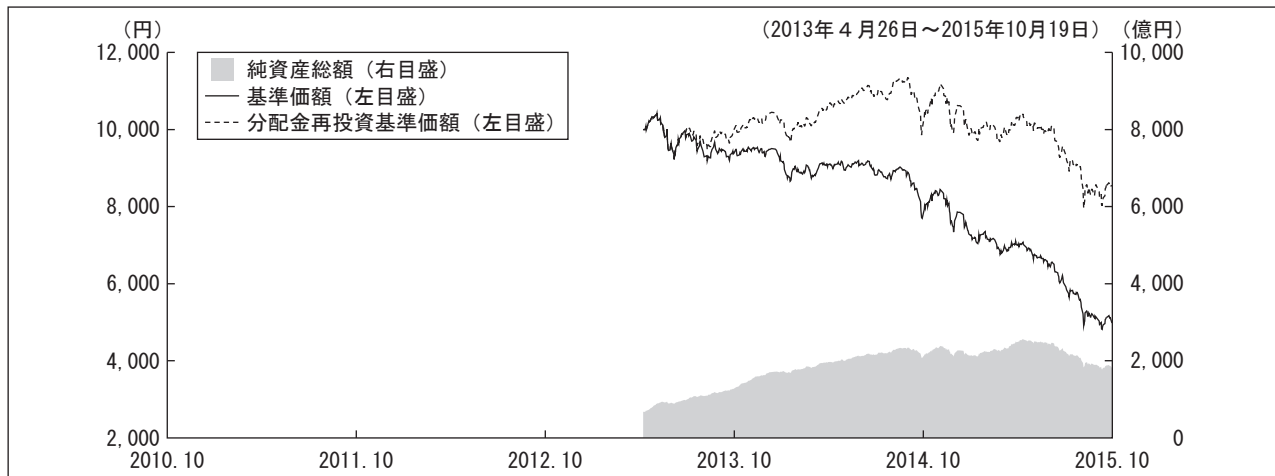
* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日（2013年4月26日）より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年4月26日 設定日	2013年10月17日 決算日	2014年10月17日 決算日	2015年10月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,364	7,693	4,976
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	600	1,800	1,800
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.3	0.5	△ 14.7
純資産総額 (百万円)	67,519	126,510	207,313	181,606

【投資環境】

当作成期のカナダ株式市場は下落しました。ギリシャ債務に対するギリシャ政府と債権者団の協議が難航したことや、中国などの新興国を中心とした世界経済の減速への懸念などを背景に世界的に株式市場が軟調となる中、資源価格の下落基調も継続し、カナダ株式市場でもエネルギーや素材など資源関連のセクターが引き続き大きく下落しました。一方、生活必需品や公益事業などのディフェンシブセクターは相対的に好調となりました。同様に、ディフェンシブであるヘルスケアセクターも作成期の半ばまでは相対的に堅調に推移していましたが、医薬品会社が米国大統領選挙の政争の材料とされた2015年9月下旬以降に大きく下落しました。

為替相場では、米国金利の先高観や資源価格の下落、経済成長率の差などを背景にカナダドルが米ドルに対して下落しました。また、これまで大きく下落していた円が持ち直したことを受けて、カナダドルは円に対しても下落しました。

国内短期金融市場では、短期金利は0%付近を安定的に推移する動きとなりました。日本の長期金利は、欧米長期金利の上昇に伴い5～6月にかけて上昇した後、作成期末にかけて中国の景気悪化懸念や米国の利上げ先送りなどを背景に低下に転じましたが、短期金利への影響は見られませんでした。

【ポートフォリオ】

■カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

主要投資対象であるPrincipal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Classを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は96.9%としました。

■Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Class

持続的に高い配当の支払いを行うことが可能な銘柄を中心に、事業ファンダメンタルズとバリュエーションが魅力的な銘柄を多く組み入れました。

エネルギーセクターについては、高い配当利回りの銘柄も多いことから保有を続ける中、セクター内でもよりバランスシートが堅固で質の高い、かつ輸送・パイプラインや精製業などの相対的に原油価格下落の影響を直接受けにくい銘柄にシフトしました。しかし、原油価格の低迷が長期化し、要求する高い配当利回り以上に株価の下落リスクも高まったと判断し、当面回復が見込まれない銘柄を中心に売却を行った結果、組入比率が低下しました。金融セクターでは、2016年にかけてオフィス向け不動産市場で供給増が想定される中、成長見通しが悪化している不動産投資信託（REIT）銘柄を減らした一方、銀行銘柄の保有を引き上げ、全体での配分を高めました。

また、株式への投資に加え、カナダ株価指数のコールオプションの売りを行う株式カバードコール戦略および円に対するカナダドルのコールオプションの売りを行う通貨カバードコール戦略を活用し、運用を行いました。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債中心による運用を継続しました。年限に関しては、6ヵ月以内の短期の国債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第23期～第28期の各期において150円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期
	2015年4月18日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月17日	2015年6月18日 ～2015年7月17日	2015年7月18日 ～2015年8月17日	2015年8月18日 ～2015年9月17日	2015年9月18日 ～2015年10月19日
当期分配金 (円)	150	150	150	150	150	150
（対基準価額比率） (%)	2.17	2.27	2.43	2.62	2.85	2.93
当期の収益 (円)	150	150	150	150	150	150
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,120	1,166	1,220	1,270	1,331	1,395

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■カナダ高配当株ツインα（毎月分配型）

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Class

カナダ株式市場は、カナダ銀行の緩和的な政策や、企業のキャッシュバランスが過去最高水準にあること、またインフラ設備の老朽化が進んでおり、交換需要に伴う設備投資の増加が期待できることなどを背景に、中長期的に堅調に推移すると予想しています。

引き続き、事業ファンダメンタルズの改善が見込まれる銘柄のうち、持続的に配当の支払いを行うことが可能な銘柄を中心に構成し、高水準のインカムゲインと株価の上昇によるキャピタルゲインの獲得を目指します。

セクター別では、堅固なコスト管理、魅力的なバリュエーション、持続的かつ魅力的な利回り水準にある配当などを理由に、銀行銘柄の保有を上げています。中でも、富裕層向け分野や、トレーディング収益、国内貸出の安定的な拡大が配当性向の改善につながる銘柄に注目しています。エネルギーセクターについては、供給過剰などを背景に原油価格の低迷が続く見込みですが、既に株価水準は底値に近いと考えており、バリュエーション面で魅力的な水準にある銘柄のうち、財務状況が良好で収益見通しの透明性が高い企業に注目しています。

また、引き続き株式への投資に加え、カナダ株価指数のコールオプションの売りを行う株式カバードコール戦略および円に対するカナダドルのコールオプションの売りを行う通貨カバードコール戦略を活用し、オプションプレミアムの確保を目指します。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

お知らせ

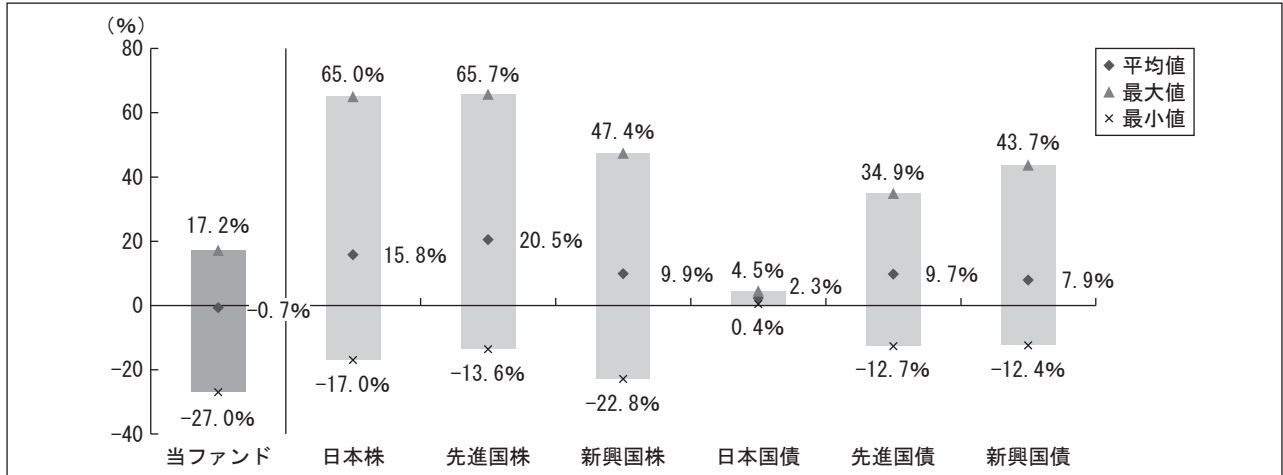
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年4月26日～2018年4月17日（約5年）	
運用方針	主に円建て外国投資信託証券への投資を通じて、カナダの高配当株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、高水準のインカムゲインとオプションプレミアムの確保、ならびに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Class受益証券 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券
	Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Class	<ul style="list-style-type: none"> カナダの株式等 スワップ取引を通じた株価指数オプション取引、通貨オプション取引の活用
	キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。 Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Classにおいては、カナダ株式の配当利回り水準に着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄の中から、個々の企業のファンダメンタルズを勘案して銘柄を選定します。 Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Classへの投資比率は、原則として高位を保ちます。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 株式への投資に加え、株式カバードコール戦略と通貨カバードコール戦略の組み合わせであるツインα戦略を行うことで、オプションプレミアムの確保を目指します。 	
分配方針	<p>毎月17日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2014年4月～2015年9月
 代表的な資産クラス：2010年10月～2015年9月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から6ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

＜各資産クラスの指数について＞

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	Citigroup Index LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

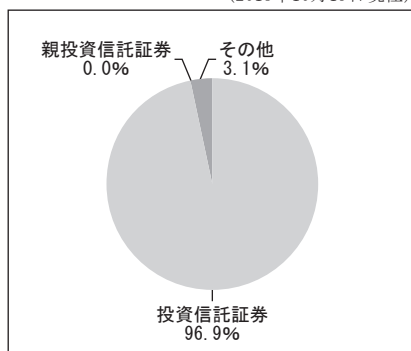
【組入ファンド】

	第28期末（2015年10月19日）
	組入比率
Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Class	96.9%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

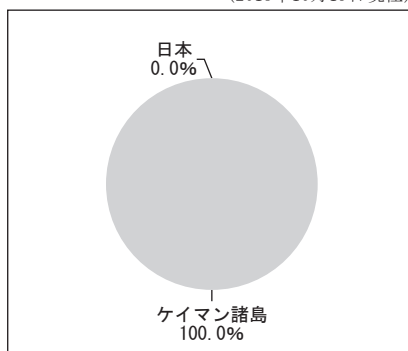
(2015年10月19日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

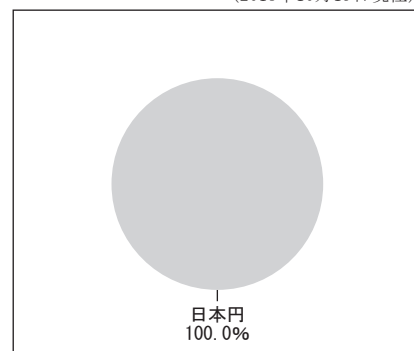
(2015年10月19日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2015年10月19日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

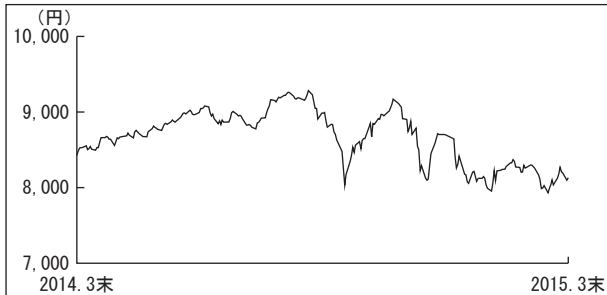
項目	第23期末	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末
	2015年5月18日	2015年6月17日	2015年7月17日	2015年8月17日	2015年9月17日	2015年10月19日
純資産総額	248,202,744,970円	241,637,236,031円	225,874,007,700円	207,281,029,027円	188,600,800,856円	181,606,408,251円
受益権総口数	367,655,817,910口	374,614,547,507口	374,831,945,760口	371,141,060,338口	369,136,050,338口	364,948,412,957口
1万口当り基準価額	6,751円	6,450円	6,026円	5,585円	5,109円	4,976円

*当作成期間中における追加設定元本額は50,007,938,321円、同解約元本額は38,935,233,062円です。

《組入ファンドの概要》

■Principal/CS Canadian Equity Income Fund Twin Alpha Class

【基準価額の推移】



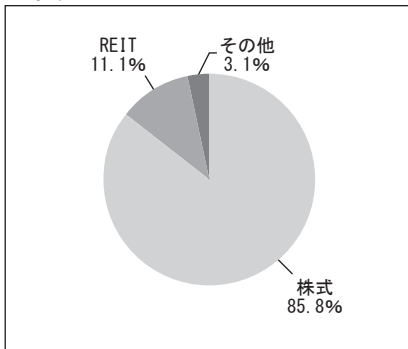
*上記グラフは、基準価額に分配金を分配時に再投資したものと表示しております。

Principal/CS Canadian Equity Income Fund

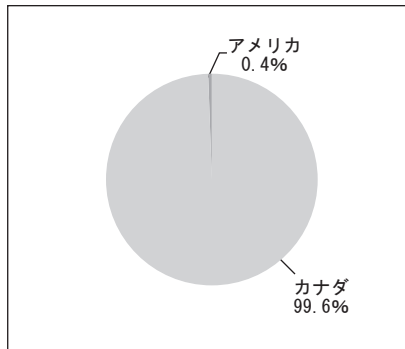
【1万口当りの費用明細】

費用については、開示されていないため、掲載しておりません。

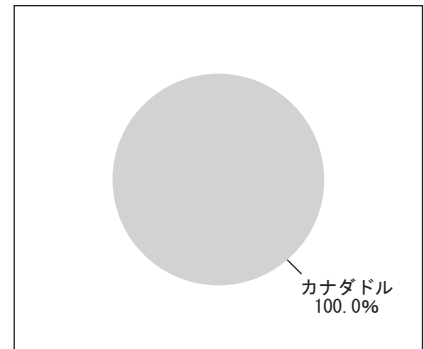
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



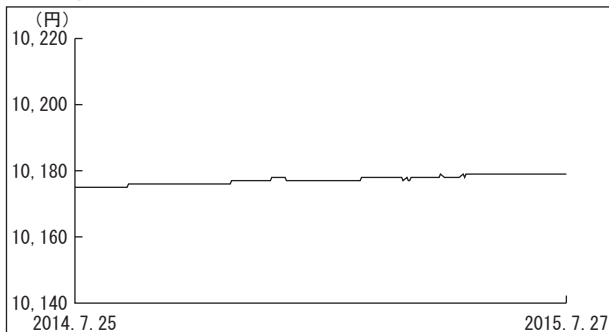
【組入上位銘柄】

銘柄名	業種名	比率
1 ポタシュ・コーポレーション・オブ・サスカチワン	素材	5.0%
2 テック・リゾーシズ	素材	4.2%
3 ビーシーイー	電気通信サービス	4.0%
4 クレセント・ポイント・エナジー	エネルギー	4.0%
5 カナディアン・インベリアル・バンク・オブ・コマース	金融	3.4%
6 カナダロイヤル銀行	金融	2.9%
7 イメラ	公益事業	2.6%
8 インターパイプライン	エネルギー	2.6%
9 バンク・オブ・モントリオール	金融	2.6%
10 H&Rリアル・エステート・インベストメント	金融	2.6%

(組入銘柄数 99銘柄)

※ 資産別配分は2015年3月末現在のPrincipal/CS Canadian Equity Income Fundの純資産総額に対する比率です。
 ※ 国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は2015年3月末現在のPrincipal/CS Canadian Equity Income Fundの組入株式等の時価評価額合計に対する比率です。
 ※ 資産別配分におけるその他にはリミテッド・パートナーシップを含みます。
 ※ 組入上位銘柄における業種名は世界産業分類基準（GICS）です。
 ※ 当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のPrincipal/CS Canadian Equity Income Fundの情報を記載しております。
 ※ 詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 ※ 上記はプリンシパル・グローバル・インベスターズLLCから提供されたデータに基づき作成しております。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 【基準価額の推移】



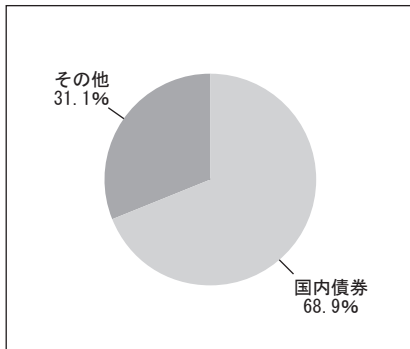
【1万口当りの費用明細】

(2014年7月26日～2015年7月27日)

当期中に発生した費用はありません。

【資産別配分】

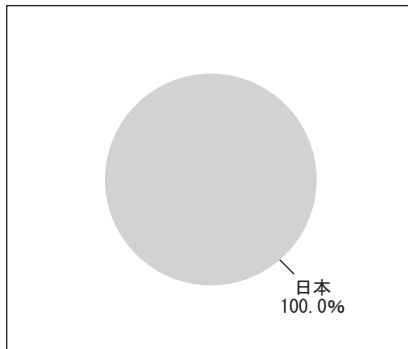
(2015年7月27日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

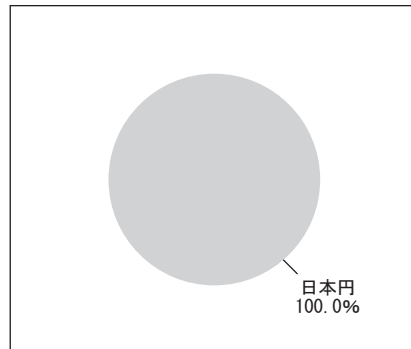
(2015年7月27日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2015年7月27日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2015年7月27日現在)

銘柄名	比率
1 332 2年国債	13.8%
2 333 2年国債	11.8%
3 336 2年国債	9.8%
4 535 国庫短期証券	9.8%
5 335 2年国債	7.9%
6 21 トヨタファイナンス	2.0%
7 388 九州電力	2.0%
8 376 東北電力	2.0%
9 32 共同発行地方	2.0%
10 38 野村ホールディングス	2.0%

(組入銘柄数 13銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。